



Nature News

撮影：11月8日 網張の森



カラマツの球果
(マツ科)

木の実を拾う

散歩の途中、木の実が落ちていたら、思わず拾ってしまいます。マツボックリやドングリを手にしたとき、なんとなく幸せを感じます。一瞬、人はやさしい心になっているのかもしれませんが。自然にはそんな力があるように思うのです。どんなに芸術家が頑張ってもかなわないほど、複雑にできている木の実もたくさんあります。同じ種類でも長いものやずんぐりしたものなど形はいろいろです。個性豊かなのです。 抜粋：「木の実の恐竜たち」



ルイヨウショウマの実
(キンポウゲ科)



ツルウメモドキの実
(ニシキギ科)



ノリウツギのドライフラワー
(アジサイ科)

森の葉が落ち、野鳥の姿を見つけやすくなりました。



ツノアカツノカメムシ
(ツノカメムシ科)



クモの仲間



ヤスデ



ツグミ
(ヒタキ科)



クロモジの冬芽
(クスノキ科)



コシアブラの冬芽
(ウコギ科)

森の様子や樹木の場所などについて、お気軽にスタッフにお声がけください。